

# 情報公開文書書式

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟入院患者における低栄養、サルコペニアおよびその合併例のリハアウトカムに与える影響
所属部署	長崎リハビリテーション病院 栄養管理室
研究責任者(職名)	西岡心大
研究期間	承認日 ~ 2021年 6月 30日
研究目的と意義	リハビリテーション(リハ)対象者では低栄養やサルコペニアが高率に認められ、日常生活動作(ADL)や摂食嚥下機能改善を阻害することが分かっています。これらの患者に対して適切な栄養評価に基づき栄養管理を実施することはリハ効果を最大限発揮するために不可欠であると考えられます。しかしながら、サルコペニアと低栄養を合併した症例に対する評価法は現時点で報告されていません。また、2018年以降に低栄養およびサルコペニアの新たな診断基準が公表されています。本研究はこれらの基準を用いて評価した低栄養、サルコペニアおよびその合併例がADLや摂食嚥下機能、口腔機能に与える影響を検証することを目的としています。
研究内容	<p>●対象となる患者様</p> <p>2018年11月~2020年1月に、当院で入院加療された患者様。</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>身長・体重・年齢・性別・入院期間などのカルテ情報、栄養状態、ADL、摂食嚥下機能、口腔機能など入院期間に測定した各種のデータを利用します。 ※本研究で利用する情報について詳細をお知りになりたい場合は下記のお問い合わせ先までご連絡ください。</p>
	<p>●研究方法</p> <p>例) 上記情報を電子カルテより収集し、個人が特定できないように匿名化したのち入院時に評価した低栄養、サルコペニアの判定結果を基に対照群、低栄養群、サルコペニア群、合併群の4群に分類します。各群間で退院時ADL、転帰、摂食嚥下機能、口腔機能などを比較します。また骨格筋量・握力等の栄養・サルコペニア指標の低栄養・サルコペニアおよびその合併に対する感度・特異度を算出しま</p>
問い合わせ先	<p>所属：一般社団法人是真会 臨床研究開発部 (PACS) 西岡・高橋</p> <p>住所：長崎市銀屋町4-11</p> <p>電話：095 (818) 2002</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>